

# 王塚古墳で町おこし！

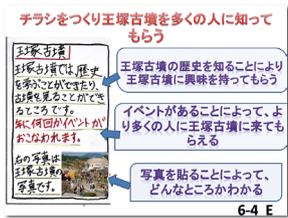
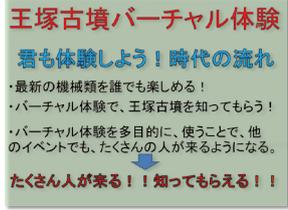


■「王塚古墳バーチャル体験」と称した提案をしてくれたグループ。VRゴーグルを装着し、仮想現実の中で古墳時代の様子や王塚古墳の解説を見ることができるようになるといふ、現代の子どもならではの提案をしてくれました。

■王塚古墳の知名度が低いことを指摘するいくつかのグループは、様々な知名度向上の案を提案してくれました。

◇王塚古墳でフリーマーケットを開催。

◇チラシやポスターを作成し、多くの人に周知。



■町外から来た人への桂川町限定グッズやお菓子については、複数のグループから様々な提案がなされました。

■「子どもは、王塚古墳だけでは物足りない」というまさに子ども目線で、「王塚アスレチック」と題した提案をしてくれたグループは、王塚古墳公園を家族で楽しめる場所にするため、子どもたちの遊び場を作るといふ提案をしてくれました。

■「アスレチック目的で訪れた人にも、王塚古墳を知ってもらえる」というメリットを訴えていました。

2月9日(木)、桂川小学校6年生の社会科学習の一環で、井上町長から子どもたちへ、桂川町についての授業が行われました。そして2月24日(金)、井上町長の授業を受けて、子どもたちが桂川町の未来についてのアイデアを考え、スライドショーにまとめ、井上町長の前で発表を行いました。



# 「(仮称)けいせん湯の浦ファーム」セカンドスクールへの提案

■湯の浦森林公園に整備予定の「(仮称)けいせん湯の浦ファーム」で体験できるセカンドスクールのイベント案や施設の案も多く提案されました。

■町民アンケートで「子育て支援の充実に力を入れるべき」と考えている人が多いことに着目したグループは、親子で参加できるイベントを提案してくれました。

# 身近なまちづくりのアイデア

■「桂川町民が健康に過ごすことができるように」と、「予防病院」を提案してくれたグループでは、運動プログラムの指導などで町民の病気を未然に防ぐための施設を作る案を提案してくれました。

■「桂川町に魅力を感じるためには、子どもの力が必要で」と切り出したグループが提案したのは、「小学生と中学生の交流」。小・中学生共同での町のごみ拾いや、給食のメニューを一緒に考える案などを提案してくれました。

